



農林水産省
令和6年度も開催
開催4年目に突入

※入門コース
全6回のオンライン講義

※実践コース
全2回のオンライン講義
対面講義を全国で開催
受講後のオンラインゼミ

※ネットワーク
交流と情報交換の場

29

まずは…

農村プロデューサー 🔍

で検索を！

30



高橋は今後も熱い気持ちを伝えていきます

31

地域の人たちが
その気にならないと
何も始まらない
そして何も起こらない

動かそうとする者の
熱意が伝わらなければ
未来への扉は開かない



32

地域づくり人材育成研修 農村プロデューサー養成講座

～地域に消えない火を灯せ～

参加
無料

「地域の将来像や そこで暮らす人々の希望の実現」 を目指す

地域づくり
何から始めたら…

生まれ育った地域を
元気にするには…

集落で話したいけど
どうしたらいいの…

地域計画を
話し合わない…

入門コース

地域づくりに関心がある人

どなたでも参加OK!

地域づくり総論	イノベーション	生産・流通技術開発	地域資源活用	地域づくり実践Ⅰ	地域づくり実践Ⅱ
地域づくりとは何か。全国にある事例の“プロセス”を解剖し、地域づくりの本質と勘所を解りやすく論じます。	価値創造型で地域活性化に取り組むイノベーターの集合知「超絶まちづくりのビジネスデザイン技法」を伝授します。	命に欠かれない食への関心を取り戻し、農業×福祉など農業をより社会につなぎ込むことで地域課題は解決します。	地方のムラには、「なんにもない」を100年、1000年続けてきた力、無事の暮らしや経済・文化、すなわち「ビジネスモデル」があるのです！	農村を包む全ての資源を活かしながら、大切なふるさとを元気に輝いた形で次世代に繋げたい。「まめや」の願いです。	「生きたい場所がある。だから、生業（なりわい）を創る。」農山村で過ごすことの価値を、事業を通して伝えていきます。
明治大学 農学部 教授 小田切 徳美 氏	一般社団法人 INSPIRE代表理事 BBT大学大学院 MBA教授 谷中 修司 氏	株式会社 エムスクエア・ラボ 代表取締役社長 加藤 百合子 氏	滋賀県立大学 地域共生センター 講師 上田 洋平 氏	農業法人 せいわの里まめや 代表取締役 北川 静子 氏	有限会社 はたやま夢楽 代表取締役社長 小松 圭子 氏
5月16日(火)19時～	5月19日(金)19時～	5月24日(火)19時～	5月29日(月)19時～	6月2日(金)19時～	6月7日(水)19時～

第一線で活躍する講師陣によるオンラインセミナー
様々な地域づくりのプロセスを学ぶ

実践コース

地域づくりに意欲がある人

“5月中旬”受講生募集開始!

3つのステップを用意
実践で“活”かせる現場力を身に付ける

経験豊かな講師陣から、
地域づくりのノウハウを学ぶ

農村若犬型 プランナー 高橋 信博 氏	一般社団法人 地域連携センター 代表 人財育成コーディネーター 前神 有里 氏	特定非営利活動法人 いいて地域づくり 支援センター 常務理事 若菜 千穂 氏
現場で試行錯誤しながら、地域づくりに取り組んでいる皆さんに、地域に消えない火を灯すノウハウを提供します。	自身の暮らしは遠くの誰かと繋がり、共に未来を創っています。思い込みをときほぐし、地域の未来を考えてみませんか。	自身の活動のあり方は地域とどう関係しているのか、それにより地域課題の解決にも異なります。いっしょに民間企業の社員が大切です。

講座修了後もネットワークを形成して
地域づくりを継続的にサポート



受講及びお申込みは農林水産省WEBサイトをご覧ください



<https://www.maff.go.jp/j/nousin/course/index.html>

代表:03-3502-8111(内線5535) ダイアルイン:03-6744-2203

農林水産省農村振興局農村政策部農村計画課農村政策推進室

▶『農村プロデューサー養成講座』は、農林水産省が農山漁村振興交付金の一事業として、開催を支援しています。◀

実践コース詳細は裏面へ

『農村プロデューサー』とは

地域への愛着と共感を持ち、地域住民の思いを汲み取りながら、

地域の将来像やそこで暮らす人々の希望の実現に向けてサポートする地域づくり人材

是非、実践コースをご受講ください！

地域に消えない火を灯す

地域づくりに決まった答えはありません。だからこそ、地域に寄り添ってサポートする人材が今、全国各地で必要とされています。

本講座は、演習や実践による現場力アップを重視したカリキュラムで構成されています。また、修了後も「農村プロデューサー」がネットワークでつながり、支え合いながら地域づくりに取組めるよう、環境を整えることにも努めています。

地方自治体職員及び地域づくりに意欲がある者等

本講座のうち実践コースの受講対象としている方たちです。都道府県や市町村の職員数が減少傾向にある中で、地域は課題を抱えています。今、これらと向き合い、地域に寄り添う人材の必要性が増大しています。

これまでに受講した方からは、

★これから自分がやるんだという力がもらえた。

★適切な仕掛けによって、ひとの心に火をつけることができるという実感が持てた。

といった感想をいただいています。

実践コースの受講対象者

地方農政局職員	都道府県職員	市町村職員	中間支援組織職員	地域運営組織職員	地域内の意欲ある者	地域おこし協力隊員等 外部人材	集落支援員	J A職員	行政 O B ・ O G 等
---------	--------	-------	----------	----------	-----------	--------------------	-------	-------	----------------

主な研修対象

主な研修対象ではないものの、受講可

現場力を身に付ける3段階のカリキュラムを用意

オンライン講義

地域の現状把握・分析手法、実践に向けたロードマップを学びます。7月に2日間、各3時間程度のオンライン講義を受講します。

対面講義（実例を基にした模擬演習）

ワークショップ形式で、現場で実践するためのトレーニングを行う3日間の演習です。7月から10月にかけて、全国8会場にて開催します。研修生は申込みの際、都合の良い会場を選択します。

★8会場：札幌、仙台、東京、金沢、名古屋、神戸、松山、福岡

オンラインゼミ（実践活動）

研修生の実践活動（モデルケースを選出）を題材として地域づくりのポイントなどを議論するゼミに参加します。8 ケース程度を選出し、ケースごとにゼミを開催します。対面講義と並行し、翌年 2 月にかけて順次開催していきますので、研修生は積極的に参加してください。

講座スケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入門コース（オンライン講演）				全6回									
実践コース	①オンライン講義			2日間 （オンライン） 受講 申込 受付 期間									
	②実例を基にした 模擬演習							3日間の対面講義 ※8会場から1つ選択					
	③研修生自らの 実践活動							オンラインゼミ 実践前1回	研修生 地元で実践	オンラインゼミ 実践後1回			
修了生ネットワーク									ネットワーク構築へ				

こんな場面（地域での話合いの場）でも役立ちます

地域計画（旧人・農地プラン）

作成のための地域での話し合い

令和4年5月から、人・農地プランは法定化し、地域での話し合いにより目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する「地域計画」を定め、それを実現すべく、地域内外から農地の受け手を幅広く確保しつつ、農地バンクを活用した農地の集約化等を進めることとなりました。



農村RMO（農村型地域運営組織）

組織形成に向けた“複数集落”での話し合い

中山間地域では、集落単体では農用地保全や農業生産のほか、集落機能の維持が難しい状況が増加しています。このため、複数集落を対象として、農用地の保全、地域資源を活用した経済活動、生活支援活動の3つを手掛ける組織（農村RMO）の形成支援が開始されています。



中山間地域等直接支払

「集落戦略」作成のための地域での話し合い

中山間地域等直接支払は、第5期対策（令和2年度～令和6年度）から、体制整備単価（10割単価）を受給する要件を、「集落戦略の作成」に一本化しました。集落戦略は、協定農用地の将来像並びに、集落全体の将来像、課題、対策について、協定参加者で話し合いを行いながら作成することとされています。



今、農林水産省が所管する対策に限らず、地域づくりに関するあらゆる場面で、**地域での話合い**が求められています。

本講座は、そのように地域と直接関わり、伴走しながら、地域づくりを行うことができる人材の養成を目指しています。